



「one-of-a-kind（唯一無二）」

最近、「人に良く思われるための方法」などを題材にしたスキルアップ本や雑誌を書店で多く目にします。きっと、読者のニーズが高い内容なのでしょう。誰もが人に良く思われたいと考えるのは当然です。しかし、その前に、本当に自分自身を受け容れているのかが大切なのだと思います。

私たちは、一人一人に特徴があり、全くのオリジナルです。代わりがない、まさに「一点物」の存在なのです。それだけで、私たちは尊い存在ということになります。自分で良いと思える特徴も、そう思えない特徴も持ち合わせていますが、それが自分なんだと受け容れることで、自分への愛が鼓動し始め、人を愛し、人に愛される自分が拓かれていくはずです。

子どもたちが自分自身と向き合える機会を学校生活の様々な場面で設けていきたいと思います。

江川小学校の“いま”が分かる 今月のトピックス

○避難訓練（竜巻）【9/1（木）】

「防災の日」に竜巻対応の避難訓練を実施しました。竜巻の正体や被害の様子等について、動画を使って学習した後、避難体制を取りました。机の下に潜り、ダンゴムシの姿勢を取ったり、竜巻の来る方向に背を向けて身を屈めたりしました。学校以外の場所で竜巻に遭遇したときにも、冷静に対応して欲しいと思います。



竜巻発生メカニズム等を学ぶ



身を屈めて避難

○3年生 シモツケコウホネの観察会【9/2（金）】



ジオガイドさんからの説明

保全会長さんと生き物探し

サワガニを見付けて

シモツケコウホネとハグロトンボ

総合的な学習の時間を使って、学校の近くにある下川井自然環境保全地域へ「シモツケコウホネ」の観察に行きました。この地域の水田水路に自生していた水草であるコウホネの仲間が新種であることが分かり、2006年に「シモツケコウホネ」と名付けられました。日本の固有種であり、栃木県にしか生育していません。

ここは、「那須烏山市ジオパーク構想」におけるジオサイトにもなっている場所です。ジオガイドの青木さんからは、「シモツケコウホネ」の由来や生態などについて、写真やイラストを使って詳しく説明していただきました。

また、保全会長の星宮さんには、共生する生き物について教えていただきました。

子どもたちは、その貴重さに驚くとともに、身近にある豊かな自然を感じることができました。

○夢の教室【9/14(水)】

日本サッカー協会では、様々な競技の現役選手/OB/OGなどを「夢先生」として学校へ派遣しています。今回は、5年生がオンラインで元Jリーガーの式田高義選手に「仲間との協力」、「あきらめない心」、「勇気をもつこと」の大切さなどを伝えていただきました。



夢先生の話に耳を傾ける



夢シートに将来の目標を記入

○文化芸術鑑賞・体験再興事業【9/9(金)[4年], 16(金)[5年], 30(金)[6年]】

文化庁の事業を受託し、藤平昌寿先生を講師として生の音楽に触れる体験授業を実施しました。普段、触れることの少ないユーフォニアム・チューバなどの金管楽器や、マリンバ・ビブラフォンなどの打楽器の紹介を通して音楽の楽しさを感じ取ることができました。



～ Focus on 江川小 ～

GIGAスクール構想2年目の取組

国が推し進める「GIGAスクール構想 ※」により、一人一台の端末が整備され、2年目を迎えました。本年度も、通常の授業はもちろん、様々な場面で試行錯誤しながら活用を進めています。今回は、前期(4～9月)までの取組の一部を紹介いたします。

今後も、これまでの実践の良さとICTの活用による学習方法を最適に組み合わせることで、子どもたちが多様化する新しい時代に対応できるよう指導を充実させていきたいと思っております。

※ GIGA [Global and Innovation Gateway for All] ～全ての子どもたちに世界とつながる革新的な学びを～

1 QRコードやアンケート機能の活用

(1) 自主学習ノートコンクールによる投票

学力向上の取組として、「自主学習ノートコンクール」を実施し、完成度の高い作品を選び、QRコードで投票しました。



自分の端末から投票



保護者アンケート画面

(2) 保護者による学校評価

「Google Forms」のアンケート機能を使用して、保護者による学校評価を実施しました。携帯電話からも回答できます。

2 オンライン(リモート)の活用

(1) オンライン登校日の実施

夏休みに各家庭とオンラインで結び、学習の進捗や健康状況を担任がチェックしました。



オンライン登校日



学年休業中の授業

(2) 臨時休業におけるオンライン授業

新型コロナウイルス感染症による学年休業の際、オンライン授業を実施し、児童の学びを継続しました。

3 ICT支援員によるスキルアップ指導

プログラミング教育やプレゼンテーション用ソフトの使い方などを専門の講師に指導していただき、情報活用能力の育成を図っています。



今後は、「電子図書館」の活用を進めていきます。

